

# 意識の積み重ねが一步になる

企業にとって社会・環境問題への取り組みはもはや必須で、今求められているのは、消費者の意識改革ではないだろうか。環境に優しい商品を市場に普及させ、日常的な買い物での選択肢の一つとしていかに訴求できるかが問われている。しかし、現実には素材調達や生産背景の整備、それに伴うコストなど課題が多い。今こそ、業界で手を取り合い、社会・環境問題の改善を進める必要がある。レディス、ファミリーファッション、傘と異なる分野のブランドに聞いた。

(聞き手・構成＝関根生衣、中村恵生)

## レディス×ファミリー×傘 座談会

### 出席者

- 山本 健さん(サエラ社長)
- 川島 幸美さん(レディス「リン」ディレクター兼デザイナー)
- 小池 直人さん(アーチ代表兼デザイナー)
- 長尾麻友子さん(アーチデザイナー兼生産管理)



※撮影時のみマスクを外しています

## 常識に不信感を抱き

「地球環境を考慮するようになってきたのは、サエラを設立した当時、まだパブルが弾ける前、非常に高価な商品が売れていたんです。素材にもかなりこだわり、自分が美しいと思える傘を作った世の中に出していたのですが、パブル崩壊に向かって時代が変わり、安価な傘が求められるようになってきました。生産が日本から中国や台湾へ移り、僕たちが作っていた傘を模倣して安く売られる者も出てきた。そのなかで僕的美観が崩れていったんです。ある時、我慢の限界がきてしまい、00年くらいにも一回ゼロからスタートしました。」

中国の工場と関係築きながら我々のオリジナルを構築するなかで、傘の実態が分かっていきました。日本では年間1億数千万本の傘が動いていて、そのうち6000万本が中国産で、そのうち6000万本が中国産で、そのうち6000万本の頭の中には、中国産傘なんてなかったから驚きましたね。僕から見たら傘が壊れて安価に買える状況は非常に不自然ですね。一生懸命作った傘を消費者は安価なので、むげ使ってしまう。長く大切に使う気持ちは根付かせたい」と山本さん

「地球環境を考慮するようになってきたのは、サエラを設立した当時、まだパブルが弾ける前、非常に高価な商品が売れていたんです。素材にもかなりこだわり、自分が美しいと思える傘を作った世の中に出していたのですが、パブル崩壊に向かって時代が変わり、安価な傘が求められるようになってきました。生産が日本から中国や台湾へ移り、僕たちが作っていた傘を模倣して安く売られる者も出てきた。そのなかで僕的美観が崩れていったんです。ある時、我慢の限界がきてしまい、00年くらいにも一回ゼロからスタートしました。」

中国の工場と関係築きながら我々のオリジナルを構築するなかで、傘の実態が分かっていきました。日本では年間1億数千万本の傘が動いていて、そのうち6000万本が中国産で、そのうち6000万本の頭の中には、中国産傘なんてなかったから驚きましたね。僕から見たら傘が壊れて安価に買える状況は非常に不自然ですね。一生懸命作った傘を消費者は安価なので、むげ使ってしまう。長く大切に使う気持ちは根付かせたい」と山本さん



山本健(やまもと・たけし)さん  
サエラ社長。1977年、台湾の貿易商社に勤務し、現地で洋傘製造工場設立。91年サエラを設立。現在は「+TIC」(プラスチック)の普及とともにエシカル(倫理的な)消費拡大への活動を行う。



「着たい服が環境に優しいと気付いたら」と川島さん

川島幸美(かわしま・ゆきみ)さん  
「リン」ディレクター兼デザイナー。1996年、大手アパレルにパタンナーとして入社、のちにデザイナーに就く。99年セレクトショップのプロデューサーに。02年レディス「アウラ アイラ」を始めた。



オーガニック綿や「テンセル」など環境配慮素材を使う

■「WR INN」(リン) 20年10月スタート。「持続可能なファッションを通して地球の自然環境に貢献する」という理念のもと、オーガニック綿や「テンセル」、リヨセルといった再生繊維、リサイクル素材など環境配慮素材を積極的に採用。余分な在庫は持たず、生産の工程や背景を把握してCO2(二酸化炭素)削減を目指す。

## 多面的、長期的に捉え

「社会・環境問題と物作りをどう考えるか。」

長尾 19、20年のオーストラリアの大規模な森林火災で野生動物が多く犠牲になりましたが、皮膚が焼かれていたのを動画で見て本当にショックで、それでこの当に「トランジット」(雑誌)を見ていると、「この40年間で野生動物の6割が絶滅しました」というのが出ていきました。それに衝撃を受けて、そのタイミングで長尾もどういふマイニングで、お話しを聞いていただくと調べていたところ、今までの環境が楽になりました。

「社会・環境問題と物作りをどう考えるか。」

長尾 19、20年のオーストラリアの大規模な森林火災で野生動物が多く犠牲になりましたが、皮膚が焼かれていたのを動画で見て本当にショックで、それでこの当に「トランジット」(雑誌)を見ていると、「この40年間で野生動物の6割が絶滅しました」というのが出ていきました。それに衝撃を受けて、そのタイミングで長尾もどういふマイニングで、お話しを聞いていただくと調べていたところ、今までの環境が楽になりました。

「社会・環境問題と物作りをどう考えるか。」

長尾 19、20年のオーストラリアの大規模な森林火災で野生動物が多く犠牲になりましたが、皮膚が焼かれていたのを動画で見て本当にショックで、それでこの当に「トランジット」(雑誌)を見ていると、「この40年間で野生動物の6割が絶滅しました」というのが出ていきました。それに衝撃を受けて、そのタイミングで長尾もどういふマイニングで、お話しを聞いていただくと調べていたところ、今までの環境が楽になりました。

**Olive lab.**  
オリーブ 花言葉「平和」「安らぎ」「知恵」

Olive lab.(オリーブラボ)は、モノ作りにこだわりをもつ集団が「0(ゼロ)から新しいライフスタイルに安穩を」と願い、うまれました。

1 Skill 技術  
モノ作りのプロがこだわる匠の技術や希少性

2 Comfortable 着ごこち  
ちょうどいいシームレス着ごこちへのこだわり

3 Sustainable サステナブル  
持続可能性に配慮した素材選定と生産プロセス

4 Quick Response QR  
適時適量供給によるロス削減

5 Manufacturer 生産者  
どこでも作れるモノではない誰でも作れるモノではないトレーサビリティ

モリリン株式会社  
https://moririn.co.jp

お問合せ先  
オレフグループ  
olive.lab@moririn.co.jp  
総合企画室  
info.tokyo@moririn.co.jp

**Olive lab.**

1 Skill 技術  
モノ作りのプロがこだわる匠の技術や希少性

2 Comfortable 着ごこち  
ちょうどいいシームレス着ごこちへのこだわり

3 Sustainable サステナブル  
持続可能性に配慮した素材選定と生産プロセス

4 Quick Response QR  
適時適量供給によるロス削減

5 Manufacturer 生産者  
どこでも作れるモノではない誰でも作れるモノではないトレーサビリティ